

# 2022年 干支の話



## 鬼のパンツは なぜ虎の毛皮？



鬼とは本来、日常をおびやかす疫病や災害など、形のないものを指します。そして陰陽道では、陰の気が宿

虎の毛皮なのでしようか。

「鬼」というと、日本では、もじやもじやの頭髮から角が突き出し、虎の毛皮のパンツをはいている姿を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。童謡「鬼のパンツ」でも、鬼のパンツは「虎の毛皮でできている」と歌っています。ではなぜ、鬼のパンツは

## 毘沙門天の使いとして 活躍する虎

寅は十二支の3番目で、季節は草木が芽吹く春にあたります。月は旧暦の1月、時刻は午前3〜5時頃を表し、方位は北東、動物では虎があてられます。寅年は運氣が上昇する年で、何か重要なことを始めるには、寅の日が適しているといわれます。

寅の日は、毘沙門天の縁日です。聖徳太子の時代、日本に入ってきた仏教をめぐって戦いが起こったとき、毘沙門天に戦勝を祈願した聖徳太子は、寅年、寅の日、寅の刻に毘沙門天に戦勝の秘法を授けられ、勝利したと伝えられます。また、鑑真和尚の高弟である鑑禎上人が、夢で白馬に導かれた鞍馬山で鬼女に襲われ、毘沙門天に助けられた日が、寅の月、寅の日、寅の刻であった



たという伝承もあります。

毘沙門天は、鎧を身に着けた武将の姿をした仏教を守る戦いの神です。この毘沙門天の使いが虎であり、毘沙門天を祀る有名な寺院の多くには、虎も祀られています。虎は1日に千里を走り千里を帰るといわれますが、毘沙門天に代わって人々の願いを聞いて回る役目を、力強く足も速い虎が担っているということなのです。

昔は子を北として十二支を時計回りに配置していたため、鬼門である北東は、丑寅の方角となります。丑、寅は動物では牛、虎があてられることから、日本の鬼は、頭に牛の角を生やし、虎の毛皮のパンツを身に着けている姿になったといわれます。

り、百鬼が出入りするとされる不吉な方角である北東を「鬼門」と呼びます。中国から伝えられた鬼門の方角を忌む信仰は、日本では11世紀後半から12世紀末にかけて盛んでした。現在でも、建造物を建てる時には、鬼門に出入り口を設けない、汚れやすくマイナスの気を発しやすい浴室やトイレを配置しないなど、鬼門を警戒する傾向があります。

## 虎の額には 百獣の王の印が？



中国では、百獣の王といえは虎を指します。大昔、虎は地上で猫の師匠から技を学び、山林の覇者となりました。天の玉皇大帝は、その勇猛さを聞いて虎に天に来るよう命じ、衛兵との力比べに勝利した虎は、天の宮殿の衛兵の役に就きました。しかし、虎がいなくなった地上では獣たちが人間に危害を加え始めたため、玉皇大帝は獣たちを抑えるために虎を派遣しようとしています。すると虎は勝つたびに功績を記録することを求め、玉皇大帝はそれを承諾しました。

地上に戻った虎が、当時最も強かった獅子、熊、馬を続けて倒したことで、他の獣たちは虎を恐れて人のいない荒野や森林に隠れ、地上は平穏を取り戻します。虎が天に戻ると、玉皇大帝は3度続けて勝利した印として、額に3本の横線を刻みまし。さらにその後、人間を悩ませた亀の怪物を退治した功績をたたえ、虎の額に1本の縦線を加えたことで、虎の額には「王」の字が刻まれることとなりました。それ以来、虎は百獣の王として獣たちを支配することとなり、今でも虎の額には「王」の字がはっきりと浮かび上がっているといわれています。